

ひだ林業建設業森づくり協議会



路網整備と機械化による新しい林業

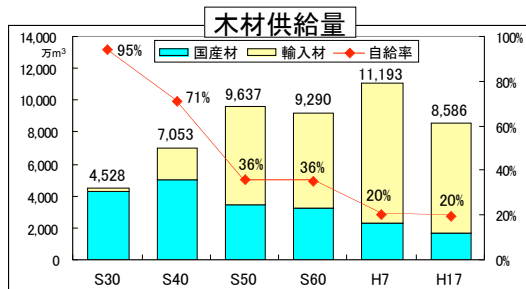
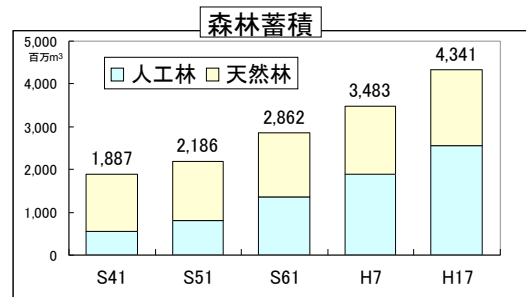
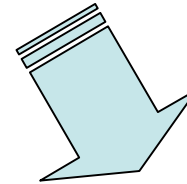
厳しい日本の森林と林業

- 林業の生産基盤の多くが未整備
路網整備・機械化の遅れで低生産性。小規模の山林所有、不在村所有者により進まない団地化。
- 間伐材の7、8割が、山中に切り捨て
- 旧態の流通、加工の遅れ、JASの形骸化
- 木材価格はピーク時の3割にまで下落

木材使用量
8,600万m³/年

ほぼ均衡

育つ森林
8,000万m³/年



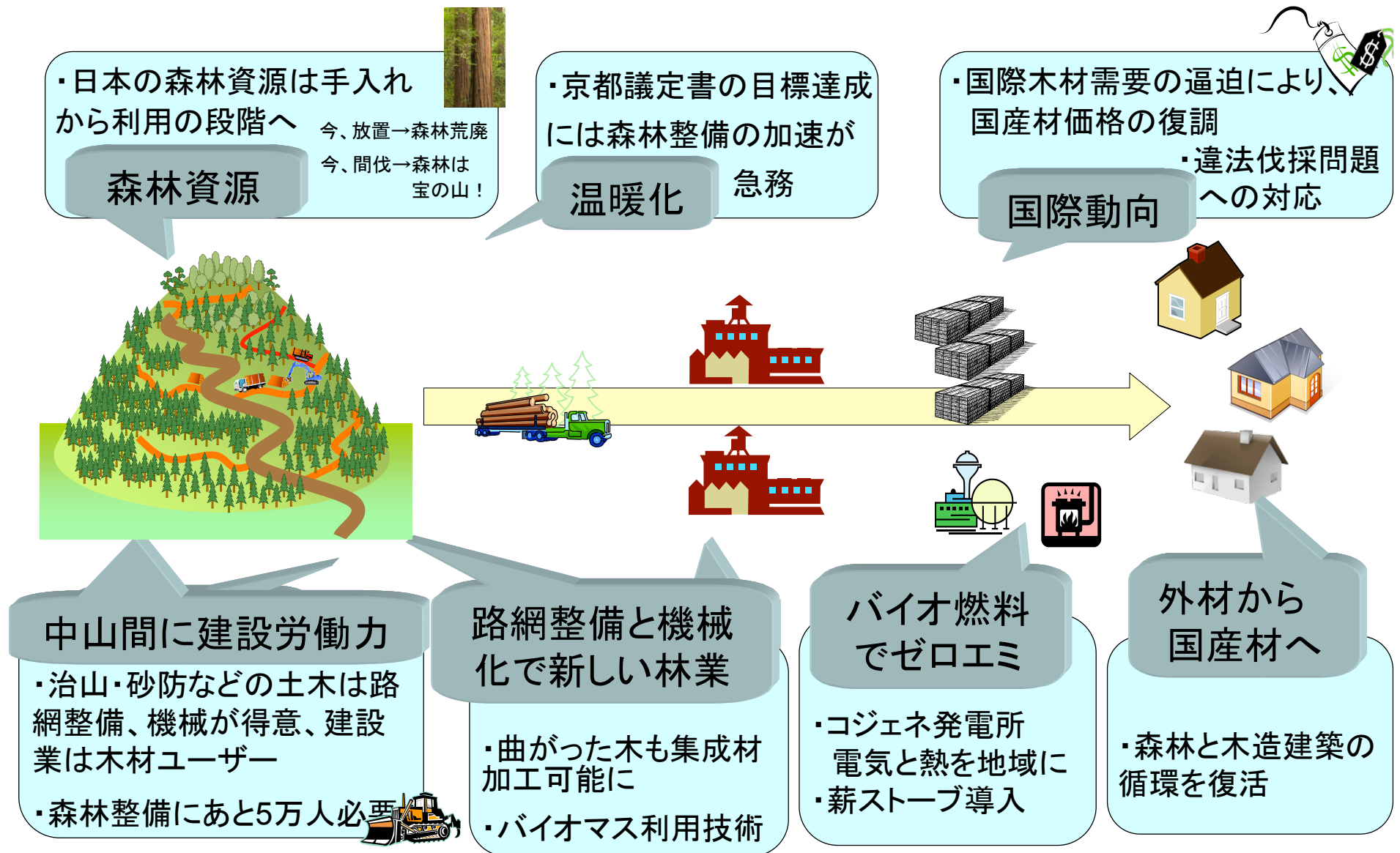
「業」として成立していない林業

木材価格の低迷、経営コストの増大、補助金依存

国産材利用の低迷

毎年の森林蓄積量の増加にもかかわらず 自給率は2割

今こそ林業改革の千載一遇の時



森林資源の循環活用の実現を！

長期の計画的な択伐、団地化の加速と森林計画のプロ育成

魅力的な提案で不在村所有者も取り込み、団地化メリットを生かした計画的・安定的な森林施業。10年毎に間伐を繰り返し百年生まで育てる長伐期方式の導入

路網整備への集中投資

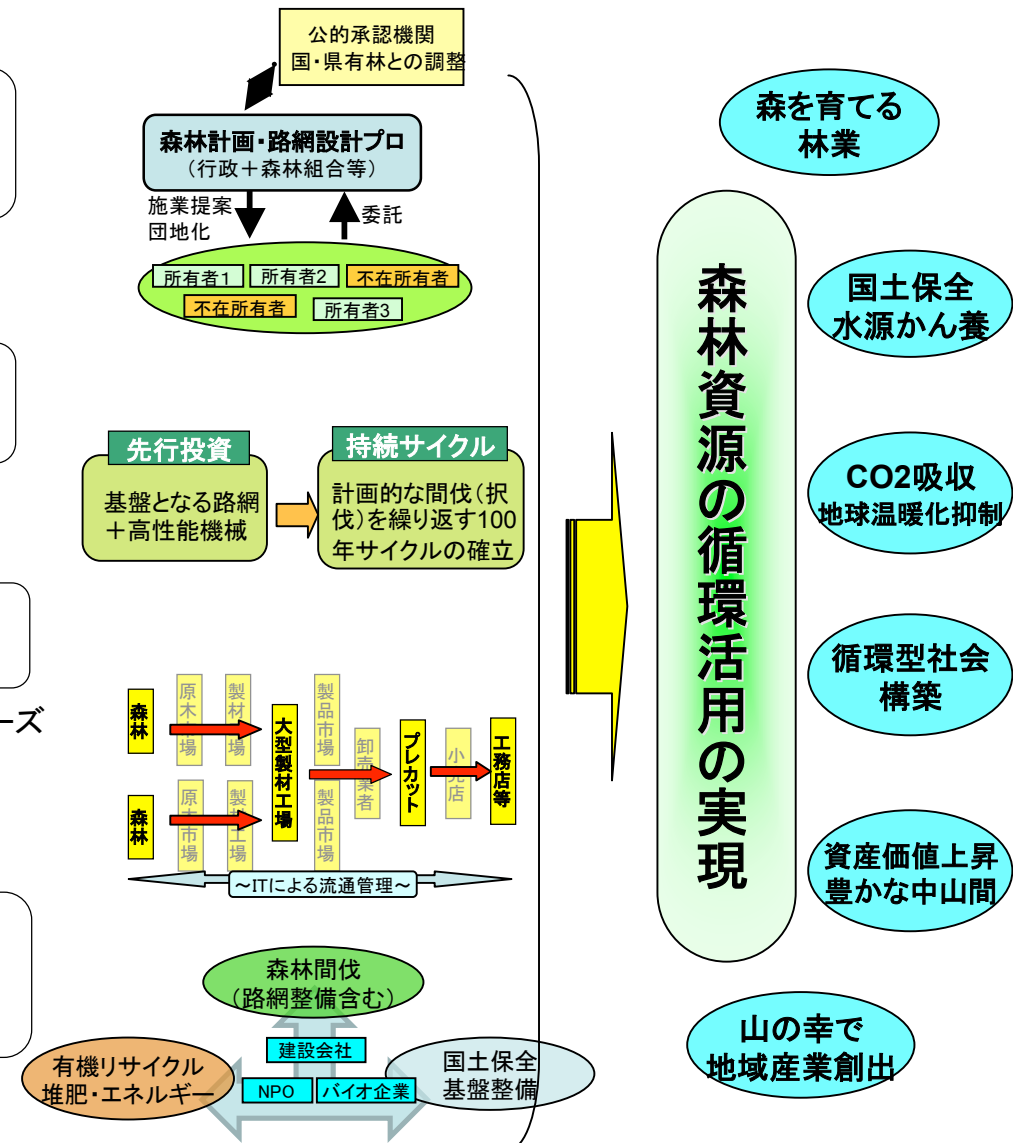
低コストで災害にも強く、繰り返し使える作業路、作業道、林道の適切な組み合わせによる生産基盤の構築

新木材流通システム

小規模・多段階流通から大規模効率化等により消費者ニーズに即応する低コスト・安定供給を実現
もれなく木材100%活用（製材、燃料・エネルギー等）
地元木材を住宅、建築、土木、家具、工芸品等に利用

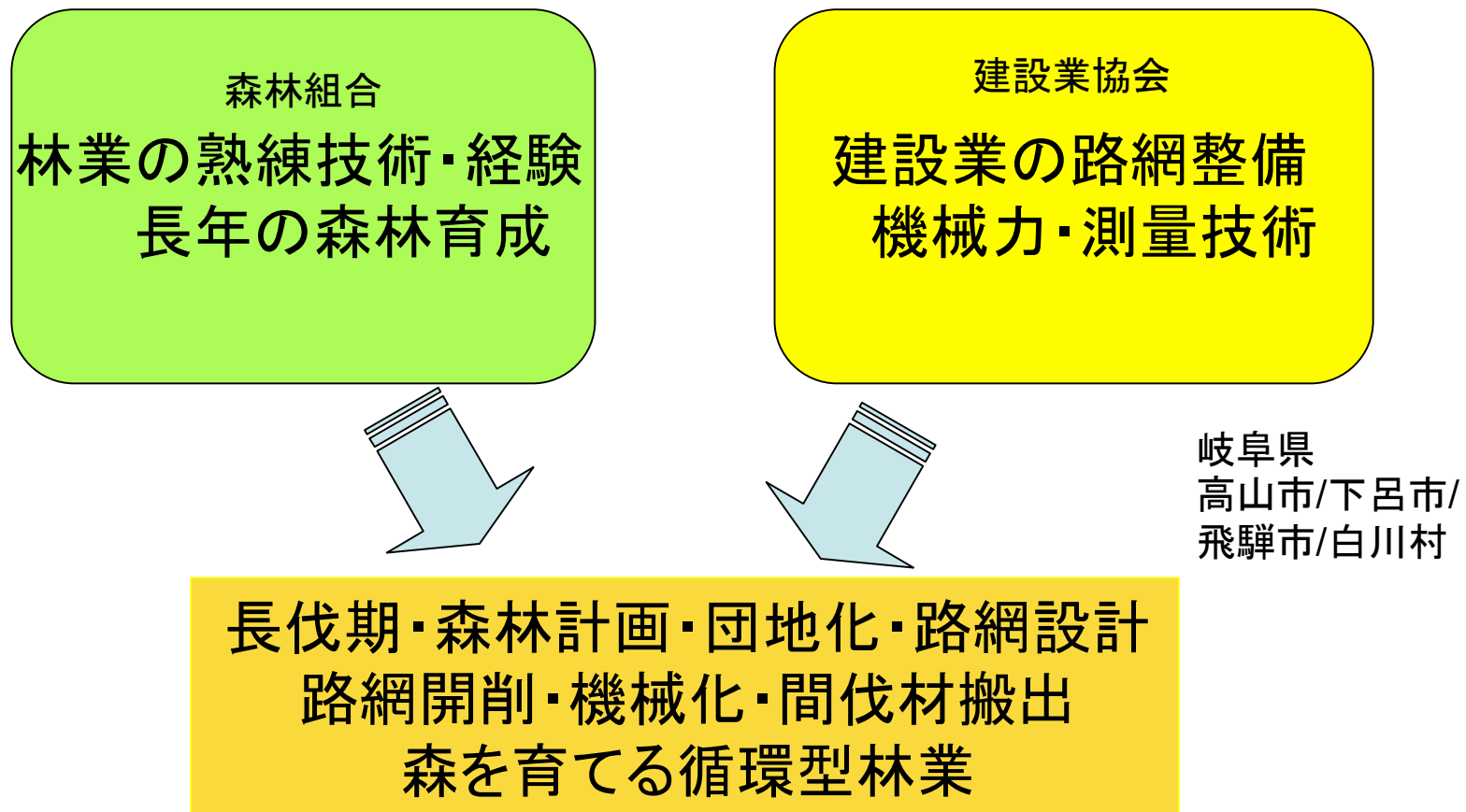
土木と林業の複業会社による森林再生と地域雇用創出

災害復旧事業や基盤整備をしながら、間伐材の切り出しも行う複業会社で、林業の革新と、通年雇用の確保
山から搬出した木材で、さまざまな地域産業興し



ひだ林業・建設業森づくり協議会

全国初の林建共働



建設業の参入促進による林業改革